

はねだみらい

第4号

2019年9月発行

発行／編集：羽田みらい開発株式会社



羽田から新たな風を世界へ

施設名称は「羽田イノベーションシティ」

羽田みらい開発株式会社(羽田みらい開発)は2019年8月20日に羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(第一期事業)の施設名称を発表した。「羽田イノベーションシティ」、その名称やロゴに込められた想いをお伝えする

施設の名称に込めた想い

日本の玄関口として世界中のヒト・モノ・コトを運ぶ「羽田空港」の跡地に位置する羽田空港跡地第1ゾーン。空港のDNAを受け継ぐこの地で、このまちづくりには「先端産業」と「文化産業」をコアにした新たなイノベーションの創出が期待されている。羽田みらい開発はその期待に応えるべく「こゝ羽田を日本の次なるイノベーションが発信されるまち(シティ)」に発展させていきたい」という想いを凝縮させ、この施設名称を生み出した。

略称は HICity

施設名称の略称はHICity(エイチアイシティ)とした。羽田みらい開発の関係者一同、この名前が多くの方々に親しんでもらえるよう、鋭意まちづくりを進めている。

羽がモチーフのシンボルマーク

漢字の「羽」をモチーフとしているシンボルマーク。背景には羽田空港跡地という

立地に加え、この施設が、ここに集う多様な人々の想像力と創造力の翼となり、イノベーションを飛び立たせる場所でありたいとの想いも込められている。そしてその「羽」の両翼には「先端産業」のイメージカラーの青と「文化産業」のイメージカラーの赤紫が配色された。

ティザーサイト(施設ホームページ)オープン

施設名称の発表に合わせ、ティザーサイトが公開された。このサイトでは2020年夏のまち開きに向け、羽田イノベーションシティの詳細情報が順次公開されていく予定だ。現在は施設コンセプトやアクセス紹介の他、コンセプトブックのダウンロードやコンセプトムービー等も見られるようになっていた。今後は施設オープンに関する情報に加え、皆様にご参加いただきたいイベント等の情報も随時更新を予定している。



名称発表と同日の8/20にオープンしたティザーサイト



ティザーサイトQRコード(イベント情報なども順次公開予定!)
※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

第2回 医工連携フォーラムを開催

2019年5月13日、学校法人東邦大学(東邦大学)にて第1回医工連携フォーラムが開催された。本フォーラムは「羽田イノベーションシティ」での医工連携に関する初段として、当事業地に先端医療研究センターを設ける予定の東邦大学(2022年オープン予定)と羽田みらい開発が主催となり、企画された。今回は取組の始動を伝えると共に、医工連携についての知見を深めることを目的とし、製販企業、医療機器流通商社、ものづくり企業の代表に登壇いただき、医工連携の生の声やトレンドを共有

した。当日は想定を大きく上回る、100名超の方々が会場は賑わった。
※医工連携：医療における新技術の研究開発や新事業の創出を目的として、医学分野と工学分野と連携し、新たな機器開発を行うこと

大迫力のアンダージェットを楽しもう!

～周遊クルーズ実施のお知らせ～

9月28日(土)
国際都市おおたフェスティバルin「空の日」羽田2019(空フェス2019)

この度、羽田みらい開発が主催者となり、アンダージェットクルーズを企画しました。実施日は空フェス2019が開催される9/28(土)! チケットは空フェス2019の「羽田みらい開発ブース」で販売します(当日先着順)。内容や料金などのイベント詳細は9月上旬に施設ティザーサイトに発表予定! 皆様のご参加を心よりお待ちしております。(ティザーサイトへは右下QRコードからアクセス)



アンダージェットクルーズとは?

離発着する航空機を真下から見ることでできるクルーズ。間近に迫りくる航空機の臨場感は息をのむほどの迫力。手を伸ばせば届きそうなほどの距離感をお楽しみください。



多くの方で賑わったフォーラムの様子

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
関連イベント			●国際都市おおたフェスティバルin「空の日」羽田2019:9/28 ●アンダージェット 周遊クルーズ:9/28	●第32回オリンピック競技大会(2020/東京)(7/24～8/9) ●東京2020パラリンピック競技大会(8/25～9/6)		グランドオープン
事業	羽田みらい開発設立 基本協定締結	●事業契約締結 ●起工式		●定期借地開始(50年間)		
工程	設計	工事		工事		